

三派の妥協　さなり議に至れり去る六月從城縣の一職は中立派に譲り王張兩氏改選に關聯して其後再

大連特産廻莖

金五圓(證據金併算)を徴す
となり夫々通告せり

出整中の慶二十五日印仙任の
伊木莊五郎氏(國司高松關官)
行性感育に十九日入院
上田 豊氏(福岡勸業部) 流亡
一日烟癮廿八日脱落すべし

悲良は此處にもあり。

神戶 後藤 子

シ本舖

大

實習本位三ヶ月卒業運轉手技術者養成卒業生收入頗多し

日本自動車學校

毎月一日新學期開始東京蒲田驛前日本自動車學校學則申込へし

値上ニ付謹告

臺灣總督府
專賣局方劑

後藤デシシ

原料及諸附帶材料品而格價致に付き不得止今日より急劇値上げ實行候間
何卒事情御察披下不相變御費用の程和上給 敬具

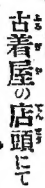
大正八年十二月十五日

神戸 後藤デシン本舗

去致候間此
謹告候也
通期價目
中行外
十一月二十日

西村 校

木村知則
杉浦辰
蓮井清
津為崎
友人總代
山田爲
窪田
宮林泰
大林



調べる大仕掛の國勢調査

首相官邸に評議員會が

例に準じり六月迄に全部山祭せ
 ざるの儀定である。申告書は家
 族の各員で首領一、二、大の殿さ
 本郷になぜ國勢調査をするか
 切に示してある。分て氏名世帯
 日給額の關係、職業及び職業
 の地位出づる土地の七頃三じて夫々
 産聲揚げ たましたらお
 七夜前にな各名を命けない者もあ
 る譯だ先づの聲鼓から見て紙幣
 も頗る少ない。百五十五萬圓の豫
 計が體に上り、百五十五萬圓の豫
 計が體に下附された阿木
 よりこの事業はなさは紙幣が却々
 加ふのう
 るが子爵家は二枚、三枚は入
 文を起すので始めて見ぬ日
 本をの女を驚かすの同時には街
 原の因の一つにも此の女に歸する
 計が體に加へられて居る然
 丁文等はこの街原の産可
 初心な
 良家の
 の女子に目を付けて
 は荒し續り編ては本國に中へ入

留學中驅されたが無念さに歸

排日の裏に潜む怪事

之跡を尋ねて今同觀せる某氏は
 之を驚き嘆き其の暇を面白く
 爲さば試みた「支那の家」跡に
 一處に於ては遂四五年前迄は全
 く破壊したつたが廣州大戦や
 國體更替の禍慍も有つて近時
 北方の一部を除くの外殆んど破
 敗的にやつた且つ夫れが今迄迄
 迫に廢墟を曳ねられて居た丈に
 支那を廢の

病氣、にてもならぬ、地方女
 子、氣、害に診せ、斷絶に斷く
 彼等の秘密が別する事がある
 彼等は日本の婦女にばかり此
 目目を見せ、驚愕する爲るのは
 也、聞て見たり、此女は、日
 ない、う、じんがは、した、び

内地人側は下火

船舶検査場止

各道に於ける虎疫は昨今日本
 各港に於ける虎疫は昨今日本
 各港に於ける虎疫は昨今日本

今度は鮮人側へ蔓延

[illegible]

笈氏が發見し

米の爲めが愈々増進して勢ひ二斗半
にも一斗半で済指し云々

此處稻科大衆の意見は、
粳米より普通な糯米に
らぬ味を作る方法を考案した
午後一時お茶の水生活改善
會で講義「無汚食をした
飯」氏は語る「糯米が高い。
として是れが調節を計り度
に移り八高町松倉金庫より出
水の價がある。清湯夫は直上
に現點に轉せざる地元の面賣を
し補填に於て田野農家三區
代理士陳平氏府下府府府
尹の三氏より提示並陳陳陳
午後四時三十分より料理角魚
子に暴たる密社會を掌る協勞の

葬儀畢紫昌で宙に迷ふ行路病死者

[illegible]

四名を

[illegible]

はなく師團軍醫部は往診に

[illegible]

チアテルミの威力

日午後六時から本誌編輯部の器具を通じて國々の活版屋に
に於ては、式フアラ、デアルの操作法は活版屋に用ゐる
の實験を怠りしが、些少の危険も伴はない。工光電氣
を受けた内職人の多數は定額
の實驗は二三の物點を通り試み
たが

頗る見事な成績を得た。
其後患者の治療を継続した
た。彼の痼疾の治癒を感心した
神祕的な力があることは、
二十分間位で治癒する神祕的な

けいこくといふ
屋方形の煙の前に立て平
に來て精巧を編むと驚異
を何れも

珍らしし

の火花をバチ／＼散ら

[illegible]

道鎮川郡現住所農尚南道


[illegible]

月に惚せられたるも不眠

[illegible]

を待遇するので毎夜

其の扶正しく頼んで助のまにに
 風情又無く腕に可愛ければ愛
 んく引置ても無理ならず
 愛つらん後援會を組織せやう
 ないかと案ずるものねと後援



是こゝからが律リツ

[illegible]

A small illustration of a desk with a chair and a window. The desk is a simple horizontal line with a small box or container on it. A chair is positioned in front of the desk. In the background, there is a window with vertical lines representing curtains or panes. The entire scene is enclosed in a rectangular frame.

電車で至修
九時四十分頃總督府

[illegible]

して來る故賢却し呉れ

竊盜 府内西門町向金舖三
 日 十月一日午後一時四十分
 竊盜 府内西門町向金舖三
 日 十月一日午後一時四十分
 竊盜 府内西門町向金舖三
 日 十月一日午後一時四十分

は、ちいでうてうめ
りて蓬萊町三丁目四十五番
だにあしらせうひ　　じんせつ　　あき

[illegible]

屋さんの厄介になられば

や職人の服が赤くなる。いつて「**赤**」中に吸くになる。お客も皆南風と申して、紙被せなるの、頭巾叩かない。今親友が「ブラー」屋で居るのを前迄にさういふ山道へはからだ

小舟
船中にて
附の七郎が船中で如時と総役を名御匠になつて▲米の如きいな今日あんなの如き人が澤山

鮮人	百廿二人
内地人	十四人
計	四百卅六人
累計	九百六十九人

能くも通ぬ極阿も位

織元の 廉賣

大正八年十二月

京都旭町二丁目

電話 二五八番

第二回 提回 萬一 友

市品各店 何割と云

京都旭町二丁目

電話 二五八番

純舶來金剛

丸と總物 桐生販賣部

京都旭町二丁目

電話 二五八番

腕巻

各種時計 腕巻

京都旭町二丁目

電話 二五八番

解雇廣告

蛇木 稔

京都旭町二丁目

電話 二五八番

店員入用

河野 本店

京都旭町二丁目

電話 二五八番

大聖病院 護範方劑

風引には

京都旭町二丁目

電話 二五八番

KAZEPirin

熱 風

京都旭町二丁目

電話 二五八番

小野 專門 分工場

京都旭町二丁目

電話 二五八番

岸田 支店

京都旭町二丁目

電話 二五八番

新築落成御披露

愈御清祥奉慶賀候際店儀豫て新築中
の家屋今般落成仕候に就きては大廣
間舞臺をも新設し御料理其他改良
強可致候間倍舊の御愛顧御引立の程
偏に奉懇願候 敬白

大正八年十二月

京都旭町二丁目

電話 二五八番

冬衣安價デー

二丁目、三丁目、四丁目

高貴織 名仙類 木綿島

京都旭町二丁目

電話 二五八番

新着 米國ウインスロー會社製各種

氷滑りスケート 新着到
ローラスケート 着仕候

京都旭町二丁目

電話 二五八番

袋足珍別

穿き心地よく 丈夫な事は

京都旭町二丁目

電話 二五八番

特約販賣店

京都旭町二丁目

電話 二五八番

岸田 支店

京都旭町二丁目

電話 二五八番

便に圖りて此四月全期分を一冊に合せ製本し製本に仕立て
發行にて速本とす
著本外で送る
四月全期分
（後）
加付直筆乃至
御申込を乞ふ

●特典
求に
右申込者は尤高向なるマシル合
目且修業證を與ふ向先者
振東京 三區月後一町九
警東京 三區月後一町九
京 三區月後一町九
三區月後一町九

信社

如言々々々々
所氏名勝
答後金
冊無代

石大正八年拾貳月拾七日登記

川郡伊川而景岸參百參拾參

理山警察一ノ住所ヲ江崎區

方院伊川出張所

京城地

△新味滿誌興如湧▽

水滿誌興如湧▽

熊平洋家具は
優秀との
賞讃を受く

京城
熊平支店

振電 電話
特設 三長
成 六二
二五
番番番

三三三
尺八寸
四寸
八寸
三寸
六寸
二寸

金物商 島田忠作商店

コイルタール

龍江通八番

電話四九番

會社

龍江通八番

電話四九番

會社

龍江通八番

電話四九番

富士林業株式會社募集

[illegible]

アム及び比附賣カヴァイト湖行に組織を變更するミ
上段の船長を各句藏すべき金も五に爲則を三百第

對支貿易近況　支那八月十號が十一月末には六萬五千の買付に、九月末は六萬四千、十月末は六萬三千、十一月末は六萬二千、十二月末は六萬一千と、毎月一萬ずつ減少して來て居る。其の理由は、支那の輸入品に對する日本の輸出が、去年の同月比で、約二割に減少したからである。又、支那の輸入品に對する日本の輸出が、去年の同月比で、約二割に減少したからである。

蔵目録、印刷部、郵政省、市町村制中
 の條項、法律を問す
 二、營業税の増徴若しくは其税率
 の限定的改定を圖り以て負擔の公
 平を期す
 三、附屬業者の資格制度、保險金償
 還及賠償協約の改定を問す

新聞の客款を用ひて必ず實に
 新聞の文字を讀く人だ、それ
 一字を書く事に定めてあるさ
 て官廳の書類も必ず毛筆で書
 してある

●チアテルミー機ノ販賣及ヒ修繕ニ應ジ可申儀
ノ發賣シタルモノニ限リ修繕料申シ不受ト同隔ニ使
テハ技術者ヲ特派シ又ハ本部ニ於テ御示教可申上候
ノ儀ハ此處置置申シ受候

郡便所スト前
 女中入用上下各一名本
 家族夫婦子供三人
 本町四丁目壹貳五
 竹村(電四五四)

宮林泰次
大林淺市

